

二酸化炭素排出量の削減目標設定について

当社では、企業活動にて排出される二酸化炭素の発生を削減することを目的として、2030年度までの二酸化炭素排出量削減目標を設定しました。今後、各事業特性に応じたエネルギーの利用効率向上・代替技術の模索等を行い、電気・ガスを中心とするエネルギー使用量の抑制を進め、目標達成を目指します。

2030年度までに Scope 1、Scope 2を対象とした二酸化炭素排出量を 「2017年度比30%削減」を目標とします。

取り組み事項	目標・目的	具体的実施事項
二酸化炭素排出量の削減 (Scope 1、Scope 2)	2030年度までに 2017年度比 30%削減	①稼働率の向上による非生産時間の短縮 ②不良率の低減による材料歩留り率の向上 ③負荷バランスの見直しによる電気使用量の削減 ④熱効率の見直しによるガス使用量の削減 ⑤設備の高効率化 ⑥エネルギー使用量の見える化による無駄の排除 ⑦再生可能エネルギーの利用 ・滑川本江工場および藤岡工場 ……PPA方式太陽光発電利用 ⑧ガスの切替え ……藤岡工場:LPG→LNG変更 ⑨グリーン電力の購入

○2030年度までの二酸化炭素排出量目標設定について

1- 生産数量予測：

エネルギー使用量ピーク年度 2017年度実績：1,198百万本、2030年度見込み：1,326百万本

2- 2030年度までの予測生産数量増に対し、製品別原単位を設定して、エネルギー予想使用量増を見込んだ上で、設定した電力排出係数により二酸化炭素排出量を算定。

3- 2024年度以降のグリーン電力の購入、PPA、都市ガス導入、設備5か年計画、工場省エネなどによる二酸化炭素削減量の積上げ分を見込んで、総排出量とした。

※結果、

2017年度の二酸化炭素排出量実績：56,273t-CO₂

2030年度の見込み二酸化炭素排出量：39,440t-CO₂（2017年度比30%削減）

